

——神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門・被災現地活動での注意

- ・被災された方々のプライバシーを守ってください。
- ・被災地では必ず複数名で活動してください。
- ・活動の危険回避・安全確認は現地の受入団体の担当者に必ず尋ねてください。
- ・活動場所から安全な場所への避難経路を確認してください。
- ・余震が起きた際には建物、ブロック塀から離れてください。
- ・能登半島地震被災地では6月の地震で家屋が倒壊しています。

【地震】石川県輪島市珠洲で震度5強大けが1人5棟倒壊

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240603/k10014469331000.html>

- ・発生から時間が経ってから倒壊しています。

片づけ中 ブロック塀に挟まれた男性死亡 石川県が注意呼びかけ

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240214/k10014358111000.html>

- ・地震によって崖や法面が崩れやすくなっています。雨、台風の時期は特に近づかないでください。
- ・暑くなっているので、熱中症対策を採った上で水分補給をこまめに行ってください。

- ・宿泊場所を確認し、耐震性、安全対策、避難経路を確認してください。
- ・対応が無理なことがあればお断りしてください。
- ・念のため、貴重品の扱いにも気を付けてください。
- ・荷物になり過ぎないよう、食べ物、飲み物を持参してください。
- ・「人命にかかる二次的災害を防止する」ため危険な建造物に入らないよう、各建物の応急危険度判定を参考にしてください。

応急危険度判定結果は、3色の紙で建造物に表示されています。

- ・赤色「危険」：建築物に立ち入ることは危険です。立ち入る場合は、専門家に相談し、応急措置を行った後にしてください。
- ・黄色「要注意」：建築物に立ち入る場合は十分注意してください。応急的に補強する場合には専門家にご相談ください。
- ・緑色「調査済」：建築物の被災程度は小さいと考えられます。建築物は使用可能です。

（参考）「被災建築物応急危険度判定は大地震により被災した建築物を調査し、その後に発生する余震などによる倒壊の危険性や外壁・窓ガラスの落下、付属設備の転倒などの危険性を判定することにより、人命にかかる二次的災害を防止することを目的としています。」

https://web.pref.hyogo.lg.jp/ks29/wd30_000000011.html

【荒天時の注意】2025年6月加筆

- ・被災地は地震、昨年9月の大水害、今年2月の積雪で、交通網、崖や法面、建物が脆弱になっています。
- ・幹線道路も復旧していますが、雨天、地震に対して危険な箇所は今も多数存在します。
- ・雨は降っている間だけでなく、その後にも影響をもたらします。
- ・雷が近づいてくる、予想される時には安全な屋内に入る。
- ・行政の情報は現場とは時差があります。皆さんに情報が届く時には既に・変化していることも十分考えられます。

参考：

「災害ボランティア服装マニュアル」【サイボウズ】 <https://saigai.cybozu.co.jp/20200204/>

「災害ボランティアの心構え」【レスキューストックヤード】
<https://rsy-nagoya.com/volunteer/volknowledge.html>

神戸大学「能登半島地震における学生ボランティア活動について（「災害ボランティア活動計画書・公欠願」手続を含む）」
https://www.kobe-u.ac.jp/ja/announcement/2024_01_29_01-1/

—— 知りたい点、わからない点などがあれば、問い合わせてください。
神戸大学地域連携推進本部ボランティア支援部門 crsu-vol@office.kobe-u.ac.jp